

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会 帯広養護学校 1.2 学年フットサル指導派遣報告書

- 報告者 小野寺 隆彦(評議員・エスポラーダ北海道 GM)
○実施期日 令和3年12月20日
○担当教諭 六本木 博文 教諭
○指導時間 1年 10:25~11:55
2年 12:50~14:00

○実施概要

指導概要及び指導写真

【1年】

1年は生徒の実態差が大きい学年と聞いていたので、シンプルな内容で実施

- 手を使ったボールフェーリング (準備体操)
- ドリブルトレーニング (ボールタッチやドリブル練習)
- シュート練習 (蹴るだけ、パスを受けてシュート)
- 試合を実施 (多くの生徒が積極的に参加)

【2年】

2年生はフットサル事業計画6回目の最後でしたので実践をイメージ。

- エスポラーダ北海道のゲーム映像 (3分程度)
- ボールフェーリング (手・足をテンポ良く)
- パス&トラップ (講師・教員とパス交換)
- シュート練習 (ゴールを決めることを意識)
- 試合の実施 (ゴールがしっかり奪えてました)

写真 A

写真 B



○自己評価及び今後の課題等

多くの教員の皆様にご協力をいただき、怪我無く終われたことに感謝致します。どちらの学年においても個人差はありましたが、生徒一人一人が一生懸命取り組み「できた」「ゴールを決めた」など成功体験から笑顔が生まれたと感じました。

ただ、個人差の大きい生徒に対し、どこまでどのようなことを求めるか？にとっても難しさを感じました。私が意識したことは、練習の内容はシンプルでも、「褒める」の声掛けを多く意識したことが、今回の良い手応えだったと振り返っております。今後も内容に加え、生徒の空気感をしっかりと読み取りながら実施できるよう明るく楽しい授業を目指したいと思います。